

〔新規〕しまばら国際化推進事業

事業目的

市民に異文化理解や国際感覚醸成のための学びと交流の機会を提供し、国際化に対応した人材の育成を図るとともに、今後、ますます増加が見込まれる諸外国からの来訪者にも親しまれるまちづくりを目指します。

事業概要

本市の現状	① 海外都市との交流が特に無く、市民と外国人との交流の場等が少ない
	② ジオパーク国際ユネスコ会議の開催や上海航路の運航開始等により海外からの来訪者の増加が見込まれる
	③ 中国上海市への中学生派遣事業を実施し、また中国浙江省長興県からも訪問団の来島があっている



対応策	① 関心のある市民を対象に、県内の国際交流員や留学生、ALTを招いての交流会などを開催（年8回程度）
	② 中級以上のクラスの語学講座を開催（約6ヵ月間）
	③ 外国語（本年度は中国語）が堪能な非常勤職員による交流会や語学講座の企画、実施



海外との本格的な交流に向けた一定レベル以上の語学力を持つ人材の確保、自主的な国際交流事業、国際化を推進する市民団体の育成などを目指す

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	2,884千円（2,884）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	—	・交流会及び語学講座などの開催	

市民文化芸術振興事業

事業目的

市民が主体的に行う文化芸術活動の発表の機会と場を設けるとともに、外部の講師の講演により市民文化の振興を図ります。併せて文化芸術活動の支援を行い、文化の香り高いまちを目指します。

事業概要

○文化芸術活動の発表の場と、教養を高める場の設定

市民音楽祭

11月の3日間開催

- ・小中学生の部
- ・洋楽の部
- ・邦楽の部

1,200千円

島原市美術展覧会

10月の5日間開催

- 絵画・書・写真・工芸・
- 陶芸の5部門

539千円

市民文化講座

年5回程度開催

- 市内外の専門家に文
- 化・芸術・社会・経済
- 各方面の話を聞く

112千円

梅林俳句会

毎年2月に開催

- 市の花「梅」を題
- 材とする句会

○市民の文化芸術活動の支援

- ・各文化団体等への活動支援（島原文化連盟・有明文化協会・民俗芸能等）
- ・全国大会等出場補助

1,729千円

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	3,580千円（3,580）		—千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	市民音楽祭、市美術展 市民文化講座、俳句会	市民音楽祭、市美術展、 市民文化講座、俳句会	市民音楽祭、市美術展、 市民文化講座、俳句会

自主文化事業

事業目的

市民に芸術性の高い優れた舞台芸術に接する機会を提供し、地域文化の活性化に繋げることを目的とします。

事業概要

《事業期間》 昭和49年度～

《事業内容》 島原文化会館と有明文化会館を主会場として、音楽・演劇・ミュージカル・古典芸能などを招聘し、市民に優れた文化を鑑賞していただくものである。

《平成24年度予定》

○ちさ子の部屋（高嶋ちさ子）	有明文化会館
○中国雑技公演	有明文化会館
○シンドバットの冒険	島原文化会館
○さだまさしコンサート	島原文化会館
○島原子ども狂言ワークショップ	島原文化会館

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	16,890千円（10,835）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	・上記事業内容と同じ	・上記事業内容と同じ	・引き続き実施予定

文化・スポーツ振興グループ

〔新規〕全国子守唄サミット&フェスティバル事業

事業目的

子守唄を持つ全国 7 市村の首長の会議（サミット）と保存団体による発表会（フェスティバル）を開催します。7 市村回り持ちで、今年度は島原市での開催です（4 回目）。これを機に、子どもたちへの一層の継承と、「島原の子守唄」のさらなる普及に努めます。

事業概要

11 月 3（土）・4 日（日）の両日開催予定

首長会議（サミット）、参加 7 市村の子守唄の発表会（フェスティバル）等

※参加市村

静岡県沼津市・和歌山県岩出市・岡山県井原市・大分県佐伯市・熊本県天草市・同五木村・長崎県島原市



23 年度 熊本県五木村で開催

事業費	24 年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	1,891 千円（1,891）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24 年度	次年度以降
	H21 熊本県天草市開催	本市開催	H25 和歌山県岩出市
	H22 岡山県岩出市開催		
	H23 熊本県五木村開催		

文化会館指定管理料（島原文化会館・有明文化会館）

事業目的

多様化する利用者のニーズに効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、積極的に利用を促進し更なる市民サービスの向上と利便性を図ります。

事業概要

《事業主体》（財）島原市教育文化振興事業団

《事業期間》平成21年4月1日～平成26年3月31日（島原文化会館）

平成22年4月1日～平成25年3月31日（有明文化会館）

《事業内容》島原文化会館と有明文化会館の運営



島原文化会館

- ・大ホール 1202 席
- ・中ホール 400 席
- ・小ホールA・B
- ・展示室A・Bなど



有明文化会館

- ・大ホール 700 席
- ・多目的ホール 234 席
- ・視聴覚室 63 席
- ・研修室、和室など

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	68,256千円（68,256）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ	引き続き実施予定

体育施設管理費（指定管理料）

事業目的

多様化する民間ニーズに、より効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、積極的に利用を促進し、健康増進及びスポーツの振興を図ります。

事業概要

○島原市教育文化振興事業団【期間：平成21年4月1日～平成26年3月31日】

- ・島原市営陸上競技場、島原市営球場、島原市営総合運動公園庭球場
- ・島原市体育館、島原市立有馬武道館、島原市立弓道場、島原市立温水プール、島原市営霊丘公園庭球場、島原市立屋内相撲場、島原市立れんげん会館
- ・島原復興アリーナ、島原市営平成町多目的広場

○㈱しまばらウェルネッサンス【期間：平成22年4月1日～平成27年3月31日】

- ・島原市有明プール

○社団法人 長崎県サッカー協会【期間：平成24年4月1日～平成27年3月31日】

- ・島原市営平成町人工芝グラウンド

事業費		24年度予算額（うち、市負担額）	全体事業費
		116,301千円（116,301）	
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	・島原市教育文化振興事業団 ・㈱しまばらウェルネッサンス	・島原市教育文化振興事業団 ・㈱しまばらウェルネッサンス ・社団法人 長崎県サッカー協会（H24.4.1～）	上記事業内容と同じ

文化・スポーツ振興グループ

平成町多目的広場及び陸上競技場芝整備費

事業目的

市民の利活用並びに青少年の健全育成、プロサッカーキャンプ及び各種全国・九州規模の大会を誘致するなど交流人口の拡大を目的として、島原市営陸上競技場と島原市営平成町多目的広場芝生のオーバーシーディング工事をはじめとした整備を行うものです。

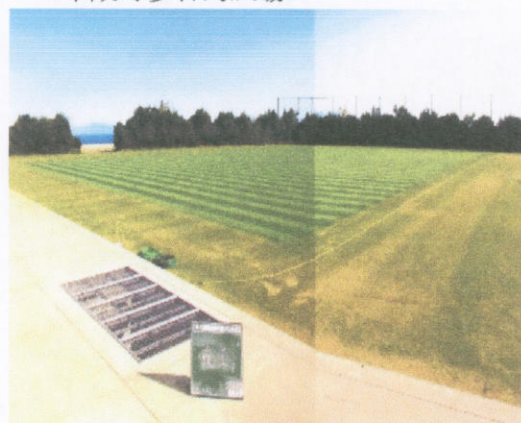
事業概要

○陸上競技場・平成町多目的広場の芝生の年間管理と冬芝の播種育成を行う。

《陸上競技場》



《平成町多目的広場》



事業費	24年度予算額 (うち、市負担額)		全体事業費
	10,200千円 (10,200)		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	上記事業と同じ	上記事業と同じ	上記事業と同じ

長崎県民体育大会役員選手派遣費

事業目的

長崎県民体育大会は、広くスポーツを振興して、その普及発展と競技力の発展を図り、併せて県民の健康を増進し、明朗な県民性を養うことを目的として毎年開催されています。

そこで、本大会に島原市代表として参加するための経費（旅費・弁当代・傷害保険代・練習会場代・消耗品代）について助成を行い、本市のスポーツの振興を図ります。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業期間》 平成24年度11月11・12日（土・日）

※毎年11月第2土曜日及びそれに続く日曜日とし、2日間で開催

《事業内容》 長崎県民体育大会役員選手の派遣・練習に係る費用の助成

① 旅費

・交通費実費相当額

※市の旅費規程に準じ支給。

・宿泊費（1泊7,000円）

※離島開催競技等、日帰り不可の場合のみ支給。

② 弁当代（1日500円）

③ 傷害保険代

④ 練習会場代

・市内体育施設各競技団体5回まで

⑤ 消耗品代

・開会式参加選手団用帽子代等

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	2,734千円（2,734）		
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	主会場 佐世保地区	主会場 県央地区	主会場 長崎地区
	※上記事業内容と同じ	※上記事業内容と同じ	※上記事業内容と同じ

5 健康で誇り高く暮らせる「ひとづくり」重視の都市づくり

第69回国民体育大会準備室経費

事業目的

平成26年に長崎県で「第69回国民体育大会（長崎がんばらんば国体）」及び「第14回全国障害者スポーツ大会（長崎がんばらんば大会）」が開催され、島原市では国体4競技、大会2競技が実施されます。また、平成25年には「全国高等学校総合体育大会（2013未来をつなぐ北部九州総体）」が長崎県を含む、北部九州4県で開催され、島原市ではレスリング競技が実施されます。

国体をはじめ各大会を成功させるため、国体等の推進の部署を設置し、国体等に係る事業の企画、各種連絡調整、競技大会の運営等の事務を行います。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業期間》 平成21年度～平成26年度

《事業内容》 長崎がんばらんば国体、長崎がんばらんば大会、全国高総体の成功に向け、国体等の推進の部署を設け職員を設置し、国体等に係る事業の全般を行う。

○第69回国民体育大会【会期：平成26年10月12日（日）～10月22日（水）】

サッカー（成年男子）：島原市営陸上競技場・島原市営平成町多目的広場・島原市営平成町人工芝グラウンド

バレーボール（少年男子）：島原復興アリーナ

レスリング（全種別）：島原復興アリーナ

弓道（近的）（全種別）：島原市立体育館弓道場（仮称）

（遠的）（全種別）：島原市特設遠的弓道場（仮称）

○第14回全国障害者スポーツ大会【会期：平成26年11月1日（土）～3日（月）】

バレーボール（知的）：島原復興アリーナ

サッカー：島原市営平成町多目的広場 他

○平成25年度全国高等学校総合体育大会【会期：平成25年7月下旬～8月中旬】

レスリング：島原復興アリーナ

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	25,217千円（25,217）		—千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ	・リハーサル大会の実施 ・本大会の実施

島原市民体育祭

事業目的

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため本大会を開催します。

事業概要

《事業主体》 島原市・島原市教育委員会・島原市体育協会

《事業期間》 ○大運動会 平成24年10月7日(日)

○各種競技会 平成24年9月30日(日)

《事業内容》 ①大運動会

・各地区交付金(150千円×7地区)

・交通指導員・ブラスバンド謝礼等
選手団・楽器等輸送費等

・その他消耗品等

②各種競技会(平成23年度は19競技を開催)

・会場借上料(ボウリング競技)

・その他消耗品等



事業費	24年度予算額 (うち、市負担額)		全体事業費
	3,000千円 (3,000)		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ

〔新規〕 小学校教育用コンピュータ等更新事業

事業目的

児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、また、必要な情報を主体的に収集・判断・処理・編集・創造・表現・発信・伝達できる情報活用能力を育むために、環境整備の推進（継続）を図り、快適な環境で学習ができることを目指します。

事業概要

○ 教育用コンピュータ及び教育用ソフトの整備

平成24年度より2カ年計画で、全小学校パソコン教室等における教育用コンピュータ及びソフトの更新を行い情報システムの最適化を図ります。

《 整備機器 》

パソコン、サーバ、プリンタ、授業支援ソフト など

《 整備台数 》

・パソコン：359台 ・サーバ：各校2台 ・プリンタ：各校1台
・授業支援ソフト：各校1式 など

《 整備計画 》

平成24年度：5校 平成25年度：5校



事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	46,000千円（46,000）		103,000千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	レンタルで10校使用	買取りによる更新 年次計画1年目	買取りによる更新 年次計画2年目（最終年）

小・中学校校舎等耐震補強事業

事業目的

学校施設は、多くの児童生徒等が一日の大半を過ごす学習、生活等の場であることから、安全で豊かな環境を確保することが必要不可欠になります。

そこで、地震発生時に、施設や設備の損傷を最小限に抑えるため、耐震診断調査結果に基づき耐震補強工事を行っており、平成24年度までに事業完了を予定しています。

事業概要

《事業期間》 平成18年～24年度

《事業内容》 耐震補強工事 ・ 第三小学校多目的教室棟 (461 m²)
・ 第二中学校中技術室棟解体・移転改修
・ 有明中学校体育倉庫 (121 m²)

	H22 年度	H23 年度見込み	H24 年度見込み
耐震化率	87.3% 63 棟中 55 棟済	92.1% 63 棟中 58 棟予定	100% 63 棟完了予定※

※三小本校舎、三中技術室棟 (H23 からの繰越事業) 含む

事業費	24 年度予算額 (うち、市負担額)		全体事業費
	49,070 千円 (39,535)		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24 年度	次年度以降
	耐震診断調査業委託 耐震補強設計業務委託 耐震補強工事	耐震補強工事	—



(耐震補強後の有明中学校)

第三小学校旧校舎改築事業

事業目的

学校施設は、多くの児童生徒等が一日の大半を過ごす学習、生活等の場であることから、安全で豊かな環境を確保することが必要不可欠になります。

第三小学校旧校舎については、昭和3年4月建設で築80年を超えており、安全面、室内環境面及び施設・設備の劣化状況等と耐震診断調査の結果を考慮し、改築（建替）を行い教育環境の整備を図ります。

事業概要

《事業期間》 平成23年度～平成24年度

《事業内容》 旧校舎改築事業

- ・旧校舎改築工事
（建築主体・電気設備・給排水衛生設備・屋外付帯・旧校舎解体等）
- ・仮設校舎建設工事
- ・延べ面積：約3,200㎡
- ・主要構造：鉄筋コンクリート造、3階建
- ・主な教室等：普通教室13、特別支援教室、通級教室、図書室、
校長室、職員室、事務室、会議室、保健室、多目的ホール



事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	387,000千円（18,400）		1,020,000千円
年度別事業内容	前年度	24年度	次年度以降
	・実施設計業務委託 ・旧校舎改築工事 ・仮設校舎建設工事	・旧校舎改築工事 ・電気設備 ・屋外付帯工事 等	—

小・中学校就学援助事業

事業目的

小学校及び中学校に在学する児童生徒の学用品費や給食費などについて、経済的な理由により困らている家庭に対し、就学援助の制度により支援することで、健康で学びに専念できる環境（学校、家庭）を充実させ、将来を担うこども達の健全な「人づくり」を目指します。

事業概要

援助を受けられる費用

- | | |
|--------------------|--|
| 1 学用品・通学用品費（全 員） | 6 学校給食費（全 員） |
| 2 新入学用品費（新1年生のみ） | 7 通 学 費（公共交通機関を利用する場合） |
| 3 社会科見学活動費（参加する場合） | 8 医 療 費 |
| 4 校外活動費（参加する場合） | <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 学校から治療を指示されて、
 トラコーマ、結膜炎、白せん、カメィせん、
 膿痂疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎、アデノイド、
 う歯、寄生虫病の治療をする場合 </div> |
| 5 修学旅行費（参加する場合） | |

認定者数及び認定率の推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度（見込み）
認定者数（年度末）	571 人	616 人	653 人	668 人	644 人	633 人
認定率％（年度末）	12.3	13.5	14.4	15.4	15.4	15.6

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	56,883千円（56,751）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	上記8項目の費用を、対象者に対して就学援助。	左に同じ	左に同じ

不登校児童生徒適応指導事業

事業目的

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てます。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業概要》 名称 適応指導教室「ひまわり教室」

開 室 日 毎週月曜日から金曜日までの週5日

開室時間 午前9時30分～午後3時30分

活動内容 ①児童生徒に対する支援

・集団適応活動

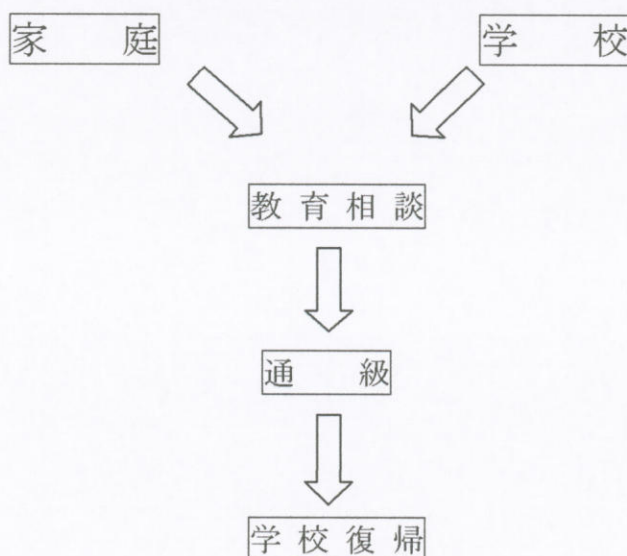
・生活リズム及び学習習慣定着のための活動

②保護者への支援

・個別の教育相談

③在籍校への支援

・通級児童生徒の対応について学校との連携



事業費	24年度予算額 (うち、市負担額)		全体事業費
	2,362千円 (2,362)		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	相談員2名を配置		

特別支援教育支援員事業

事業目的

小・中学校の通常学級に在籍し、学習や生活の面で特別な支援が必要な児童・生徒に対して、個々のニーズに応じた支援を行うことにより、学校生活に適応できるようにします。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業概要》 配置人数 13名（全小学校、及び中学校4校）

勤務 週5日 年間175日

勤務時間 1日5時間

活動内容 ①学習面における支援

授業に集中できるよう声かけを行う。等

②生活面における支援

友達とのコミュニケーション支援。等

③周囲の児童・生徒の障害理解促進

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	7,849千円（7,849）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	全小学校と二中、三中、有明中に配置。	全小学校と二中、三中、三会中、有明中に配置。	全小学校と要支援度の高い中学校に配置。

学校教育グループ

「学校司書配置事業」

事業目的

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにするなど、人生をより深く生きていく上で欠くことのできないものです。

そこで、学校図書館の環境整備を充実させたり、児童生徒や教職員に適切な情報提供を行ったりすることができる「学校司書」を配置することで、学校図書館を活性化し、児童・生徒の読書活動の推進を図ります。

事業概要

《事業概要》 配置人数 14名（市内の全小・中学校）

勤務 週3日（年間）123日程度

勤務時間 1日6時間

活動内容 ① 経営的活動

- ・入室者数、貸出冊数、学習利用等の統計
- ・図書ボランティアとの連携

② 技術的活動

- ・図書館資料の収集、分類、展示、修理・製本、点検及び廃棄、書架の管理

③ 奉仕的活動

- ・図書の貸出やレファレンスサービス、読みかたり、お話し会の実施
- ・図書相談、学習資料の提供、広報活動

④ 教育的活動

- ・図書委員や図書館使用学級への援助
- ・司書教諭や担任との連携

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	9,007千円（9,007）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	小学校は平成21年度から、中学校へは、平成22年度から各1名配置	小・中学校へ各1名配置	小・中学校へ各1名配置
	【平均貸出冊数】		
	小 中		
	H20年 73.3冊 3.2冊		
	H21年 76.9冊 2.5冊		
	H22年 75.3冊 5.5冊		

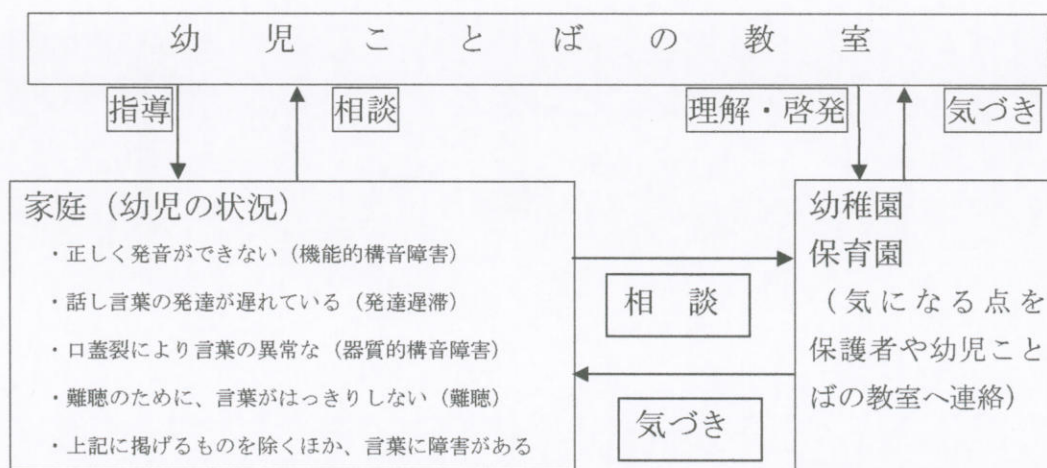
幼児ことばの教室設置事業

事業目的

言葉に障害のある幼児に関する指導及び相談を行うことにより、障害の改善及び克服を図るとともに、心身の健やかな成長をめざします。

事業概要

- 《事業主体》 島原市
- 《事業概要》 設置場所 島原市萩が丘二丁目5688番地（第二小学校内）
- 開設日時 週4日（火曜～金曜）
- 勤務時間 1日4時間
- 活動内容 相談員1名配置し、関係機関と連携を図りながら指導・相談を行います。



事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	879千円（879）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	相談員1名配置 21年度 20 22年度 21 23年度 22 （5月1日現在）	前年度と同じ	前年度と同じ

心の教室相談員配置事業

事業目的

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者を生徒の身近に配置し、生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供するため、全中学校に「心の教室相談員」を配置し、生徒や保護者の悩みや不安を聞くなどの相談活動を実施します。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業概要》 配置人数 5名（全学校に各1名）

勤務時間 3校 週4日 1日5時間

2校 週3日 1日4時間

活動内容 ①生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。

②地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。

③その他、学校の教育活動の支援を行います。

事業費	24年度予算額 (うち、市負担額)		全体事業費
	3,200千円 (3,200)		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	中学校5校に配置	前年度と同じ	

学校教育グループ

外国語指導助手招致事業

事業目的

小・中学校の児童・生徒が外国語指導助手（ネイティブ・スピーカー）の協力を得て、言語や文化に対する理解を深めることと、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的としており、グローバル化した社会で「生き抜く力」を育成します。

事業概要

《事業概要》 配置人数 4名（全小・中学校対象）

ベース校 一中、二中、三会中、有明中

活動内容 ①授業中における支援

- ・アシスタントとして授業をサポート。
- ・児童・生徒に対して、積極的に働き掛け実践力を身に付けます。

②授業設計における連携

③教材研究

- ・児童・生徒の実態に即した教材を作成します。

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	20,098千円（20,098）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	①授業中における支援	前年度同様	
	②授業設計における教科担任との連携		
	③教材研究		

学校教育グループ

〔新規〕外国語活動支援員事業

事業目的

市内全小学校を定期的に巡回し、外国語活動の授業の補助、教材の作成、ALT（外国語指導助手）の支援を行うことにより、外国語活動の授業を充実させるとともに、教員やALTの指導力の向上を図ります。

そして、日本と外国の言語や文化についての理解を深め、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができる児童を育成します。

事業概要

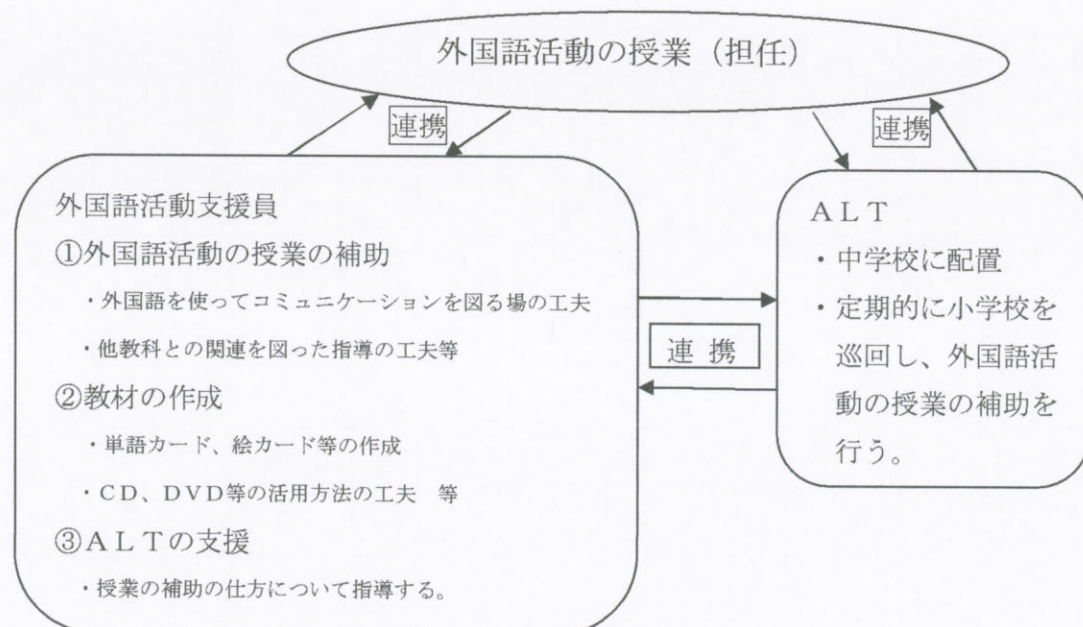
《事業主体》 島原市

《事業概要》 配置人数 1名

勤務 週5日 年間200日

勤務時間 1日6時間

活動内容



事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	828千円（828）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	なし	新規事業として 1名配置	1名配置

中学生国際親善交流事業

事業目的

中学2・3年生を対象とし、夏季休業中に中国（平成21年度までは韓国）を訪問し、上海市内の教育施設等の見学や現地の中学生との交流活動を通して、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うとともに、将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成をめざします。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業概要》 交流国 中国（平成22年度から）

人 数 15名

交流日数 3泊4日

活動内容 ①中国の中学校における交流会

平成23年：上海市青浦区第一中学

・交流内容 歓迎レセプション・校内見学

1対1の交流

（主に英語で自己紹介島原紹介）、

②各所旧跡や教育文化施設の視察及び見学

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	2,444千円（2,444）		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	平成6年から21年までは韓国との交流。 平成22年度より中国へ訪問し、現地中・高生との交流	前年度と同様、市内中学生から募集をし、中国（上海市）を訪問。	

学校教育グループ

「全国学力・学習状況調査」事業

事業目的

全国学力・学習状況調査では、国語、算数（数学）に加えて、平成24年度は理科が新たに予定されています。調査は抽出により行われ、それ以外の学校については希望利用方式をとるようになっておりますが、本市ではすべての学校で実施します。

なお、希望利用の学校は、採点から集計までを自校で行うこととなっており、採点・集計業務にかかる教職員の負担軽減と児童・生徒への学習指導の充実に図るため業者委託としています。

事業概要

《調査実施》【調査事項】（平成24年度）

市内、全小学校6年生・全中学校3年生対象

○教科→国語、算数（数学）、理科

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査

【調査の方式】

①抽出調査（文科省が調査対象として抽出した学校の対象学年の全児童生徒を対象とした調査）→小学校6校

中学校4校

②希望利用方式（抽出調査の対象学校以外の学校で、学校の設置管理者希望により、抽出調査と同一の問題提供を受け、調査を利用することができる）

《採点・集計》【調査の方式】

○抽出調査 → 採点・集計とも国の費用

○希望利用方式 → 採点・集計は学校の設置管理者の責任となっており、この分を業者委託により実施。

《分析・改善》調査結果を県、市、各小・中校で把握し分析を行い、市内各小・中学校の児童・生徒の学力向上のための取組を明らかにし、教員の授業改善に役立てます。

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	1,156千円（1,156）		千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
		国、算・数、理の採点。 集計業務の業者委託	悉皆調査になれば必要なし。希望校利用方式があれば24年度同様業者委託。

〔新規〕旧島原藩薬園跡駐車場整備事業

事業目的

旧島原藩薬園跡については、現在、園内の整備のため、県立島原農業高校とタイアップしながら圃場の管理や薬草の植栽などを進めていますが、駐車場の新設は、今後の薬園跡の利活用と集客を図るためには、必要不可欠です。

また、島原中央道路の整備によりアクセスが改善され大型バス等による来園も見込まれることから、薬園南側にある民有地（約 1,200 m²）を取得し、駐車場として整備するものです。

事業概要

- 事業期間 平成 23 年度～平成 24 年度
- 事業内容 駐車場整備（大型バス 3 台、乗用車 10 台程度）
- 平成 24 年度施工
 - ・用地購入
 - ・舗装工事、側溝工事、防護柵工事など



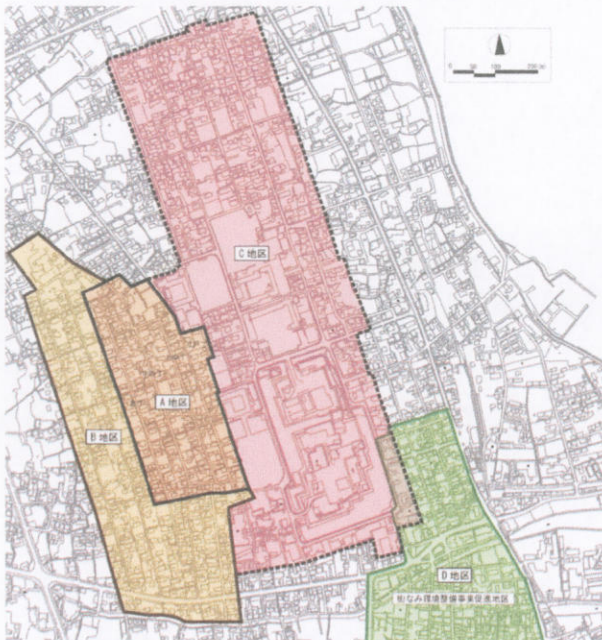
事業費	24 年度予算額 (うち、市負担額)		全体事業費
	28,450 千円 (1,450 千円)		28,935 千円
年度別事業内容	前年度まで	24 年度	次年度以降
	測量、設計	用地買収、工事	

伝統的建造物群保存対策事業

事業目的

平成19～20年度にかけて実施した島原鉄砲町伝統的建造物群保存対策調査の結果に基づき、住民の方々と協議をしながら、まちなみ保存の一つの方法として、条件整備を行いつつ、伝統的建造物群保存地区制度の導入を目指します。

事業概要



1. 伝統的建造物群保存対策学識経験者による現地視察・指導・助言
2. 伝統的建造物群保存対策に関する国（文化庁）・県（学芸文化課）協議
3. 島原鉄砲町まちづくり学習会の開催
鉄砲町の価値と伝統的建造物群保存地区制度について学び、これからの鉄砲町のまちづくりを考えるための学習会を開催します。
4. 伝統的建造物群保存対策事業に関する地域説明会の開催
伝建事業の内容を説明し、広く意見を募り、理解を深めるため、地域説明会を開催します。

↑「島原市鉄砲町伝統的建造物群保存対策調査報告書」より

事業費		24年度予算額（うち、市負担額）	全体事業費
		840千円（840）	— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	・島原鉄砲町伝統的建造物群保存対策調査結果の周知	・まちなみ保存の方法等についての学習 ・学識経験者による現地視察、助言等 ・国、県との協議 ・学習会や地域説明会の開催等	・伝統的建造物群保存地区制度導入に向けての住民合意の形成等

有明公民館耐震補強事業

事業目的

有明公民館は昭和56年以前に建築された建造物であり、平成21年度に耐震診断を行った結果、耐震診断指標「IS 値」が0.58であり、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある数値であったため、当該公民館の耐震補強工事を行います。

事業概要

○施工内容 1階、2階をコンクリート壁とします。

塔屋部分は撤去する（補強して残した場合、ブレースが階段を塞いで人が入る事ができなくなり、また、1階及び2階に耐震壁増設の必要が考えられ、多額の費用が想定される）。

※耐震診断指標「IS 値」とは、「構造耐震指標」と言い、耐震診断で補強等の判断の基準となります。

IS 値 0.3 未満・・・地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

IS 値 0.3 以上 0.6 未満・・・地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

IS 値が 0.6 以上・・・地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

公民館の耐震状況（昭和56年以前に建設された公民館）

	建築年代	診断	IS 値	耐震設計	耐震工事
森岳	S45	H19 年度	0.26	H22 年度	H23 年度
霊丘	S50	H20 年度	0.71	—	—
安中	S53	H21 年度	1.43	—	—
有明	S47	H21 年度	0.58	H23 年度	H24 年度

事業費	24 年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
年度別事業内容	前年度まで	24 年度	次年度以降
	H21 耐震診断 3,675 千円 H23 耐震補強設計 3,500 千円	耐震補強工事	無し

男女共同参画社会づくり

事業目的

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現を目指します。

事業概要

① 島原市男女共同参画推進懇話会の開催

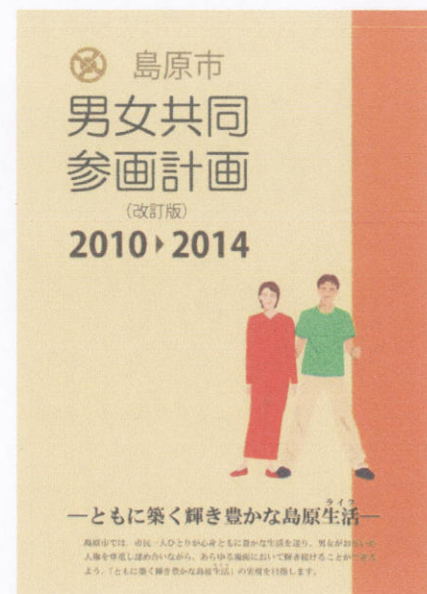
本市の男女共同参画社会形成促進を図るための施策について、島原市男女共同参画推進懇話会を開催し、委員を介して広く市民の意見を聴取することで、男女共同参画の企画・推進を行います。

② 男女共同参画社会づくり講演会の開催

関係する著名人を招致して講演会を開催し、男女共同参画の基本理念等をわかりやすく市民に周知し、意識啓発を図ります。

③ 研修会の開催

懇話会委員や市職員を対象に、男女共同参画をテーマにしたセミナー等を開催し男女共同参画社会の形成に向けた知識や技術の向上を図ります。



平成21年度改訂した「島原市男女共同参画計画」

事業費	24年度予算額 (うち、市負担額)		全体事業費
	987千円 (757)		— 千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	- 懇話会開催 - 講演会開催 - 研修会等開催	- 懇話会開催 - 講演会開催 - 研修会等開催	

島原市がまだす地域づくり補助金・交付金事業

事業目的

市民が自ら考え実践する地域づくりを積極的に推進する為、市民団体等が自主的、主体的に企画し実施する地域づくり事業に対し支援を行うとともに、併せて、地域コミュニティ活動の維持・促進の為、地域づくり活動に取り組む町内会・自治会の支援を行います。

事業概要

平成23年度

島原市がまだす地域づくり補助金

○補助率1/2、上限500千円

拡充

平成24年度

島原市がまだす地域づくり補助金・交付金

【改善】

○上限500千円・補助率1/2

○上限100千円・補助率1/2の簡易枠を追加（審査手続きを簡素化）

【新設】

○地域コミュニティづくりの新たな取組みの一環として、地域づくり活動に取り組む町内会・自治会を支援する交付金を創設

事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	7,870千円（7,870）		千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	・補助金交付	・補助金及び交付金の交付	

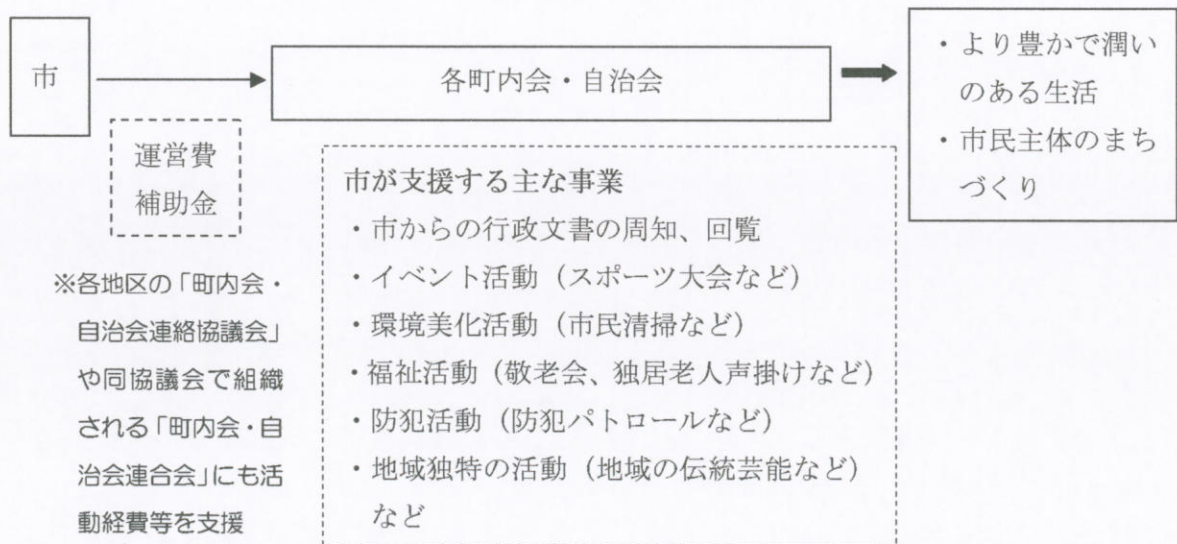
町内会・自治会活動の支援

(町内会・自治会運営費補助金ほか)

事業目的

町内会・自治会における親睦・融和、環境美化活動、福祉活動、地域文化の伝承などの取り組みを支援し、生活をより豊かで潤いのあるものとし、同時に市民主体のまちづくりを目指します。

事業概要



事業費	24年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	24,103千円（24,103）		千円
年度別事業内容	前年度まで	24年度	次年度以降
	市民主体のまちづくりに係る事業を支援 ○町内会・自治会への補助 ○町内会・自治会連合会への補助	市民主体のまちづくりに係る事業を支援 ○町内会・自治会への補助 ○町内会・自治会連合会への補助	引き続き、市民主体のまちづくりに係る事業を支援 ○町内会・自治会への補助 ○町内会・自治会連合会への補助

障害者福祉医療費

事業目的

重度の心身障害者に対し医療費の一部を助成することによって、保護者とその家族の経済的、精神的負担の軽減を図り、福祉の増進を図ります。

事業概要

○ 対象者 次のいずれかに該当する方

身体障害者手帳 1 級、2 級、3 級（後期高齢者医療適用者は、1 級、2 級）

知的障害者療育手帳 A 1、A 2、B 1（後期高齢者医療適用者は、A 1、A 2）

○ 支給額

対象者が国民健康保険及び社会保険各法の規定によって医療に関する給付を受け、その医療に要する費用の一部負担金を支払った場合次の区分により支給します。

・「身体障害者手帳 1、2 級、療育手帳 A 1、A 2」

一部負担金から入院、通院とも 1 日 800 円（1 ヶ月 1、600 円を限度）を控除した額

・「身体障害者手帳 3 級、療育手帳 B1」

一部負担金から 1 日 800 円（1 ヶ月 1、600 円を限度）を控除した額の 2/3 の額

- 補助率 医療費 県 1/2、市 1/2（103,567,000 円×1/2=51,783,500 円）
事務費 支給件数 1 件につき 50 円（50 円×19,750 件=987,500 円）

事業費	24 年度予算額（うち、市負担額）		全体事業費
	103,567 千円（50,796 千円）		千円
年度別事業内容	前年度	24 年度	次年度以降
	平成 23 年度決算見込み額 103,655 千円	19,750 件の申請件数 を見込み予算計上。	平成 24 年度と同様に 事業を行う予定。

福祉保健総務グループ